

2026年10月26日(月)
北海道エアポート株式会社

2026年冬期 国際線スケジュールについて ～国際線運航便数が過去最大へ、多彩に広がる北海道の国際線ネットワーク～

北海道内7空港を運営する北海道エアポート株式会社は、2026年冬期スケジュール(2026年10月25日～2027年3月27日)について新千歳空港国際線の現時点における運航計画を公表いたします。

※10/26時点、航空会社の運航計画に基づくものであり、今後変更となる可能性があります。

ポイント



国際線運航便数が過去最大へ

- ・新千歳空港の冬期ピーク期間最大便数/週：336便(往復)と過去最大になる見込み
- ・全体の便数は前年比106%となる見込み



多彩に広がる国際線ネットワーク

- ・北米2路線や新千歳＝台中路線などの新規路線開設により、ネットワークがさらに多様化
- ・増便、運航期間の延長、機材の大型化など、既存路線も着実に成長
- ・路線誘致と受入環境の充実を通じて**世界とつながる北海道の国際ゲートウェイ**へ



今こそ、北海道から世界へ

- ・海外への選択肢が広がる中、北海道発の海外旅行需要の創出を推進

2026年冬期の国際線スケジュールでは、新千歳空港や函館空港における国際線拡大などにより、道内7空港全体の国際線運航便数は“過去最大”となる見込みです。北米2路線や新千歳＝台中路線などの新規路線開設により就航先の多様化が進み、既存路線についても着実に成長しています。

当社では、世界の旅客流動にも着目した路線誘致を進めるとともに、国際線の乗継環境をはじめとした受入環境の充実を図り、**世界とつながる北海道の国際ゲートウェイ**を目指します。

さらに、北海道から海外へ向かう需要の創出に加え、航空会社に対する積極的な誘致・営業活動を展開し、路線ネットワークの一層の拡充と需要の持続的な拡大を図ってまいります。

引き続き、地域や関係機関と連携しながら、北海道の地域経済、観光、そして国際交流の発展に貢献してまいります。

< 本件に関するお問い合わせ >

北海道エアポート(株) 総務・人事部 広報課 0123-46-2990 (代表)

就航都市	就航運航便数(往復)/週		就航運航便数(往復)/冬期	
	2026年冬期 ピーク時期 (1/10の週)	2025年冬期 ピーク時期 (1/11,18の週)	2026年冬期 合計便数	2025年冬期 合計便数
韓国計	147	139	2,743	2,572
ソウル（仁川）	91	83	1,761	1,526
釜山	35	35	678	684
大邱	7	7	54	54
清州	14	14	250	308
台湾計	54	42	1,114	865
台北	42	39	872	799
高雄	5	3	110	66
台中	7	0	132	0
香港	48	42	779	663
中国計	11	27	242	576
上海	11	24	242	477
北京	0	3	0	76
西安	0	0	0	6
深圳	0	0	0	17
タイ計	28	31	571	652
バンコク	21	24	430	498
チェンマイ	7	7	141	154
シンガポール	14	12	211	191
フィリピン（マニラ）	13	10	213	166
マレーシア（クアラルンプール）	10	7	165	123
オーストラリア（シドニー）	5	3	66	45
カナダ（バンクーバー）	3	0	43	0
アメリカ（サンフランシスコ）	3	0	46	0
合計	336	313	6,193	5,853

※10/26時点、航空会社の運航計画に基づくものであり、今後変更となる可能性があります。

※運航形態は、定期便およびチャーター便が含まれます。